

1.概要

箕面市では平成 27 年 4 月から教育課程特例制度を活用し、箕面市立中学校の全学年において、「英語コミュニケーション科」を設定し、全ての学年で毎日英語に触れる取り組みを行っています。

市内の中学校では、年間 140 時間（週 4 時間）の外国語科（英語）に加えて、総合的な学習の時間から年間 30 時間削減し、「英語コミュニケーション科」の授業時数に充てています。英語コミュニケーション科を週に 1 時間程度設定することで、毎日英語に触れられる環境作りを行うことができます。特別の教育課程を実施することで、9 年間を通して子どもたちが毎日英語に触れられる環境作りを行っています。

2.学校関係者からの意見

- ・週 1 時間の英語コミュニケーション科の授業では、小学校で学んだことや週 4 時間の外国語科（英語科）で学んだことを活かして、やりとりする活動に取り組んでいる。
- ・英語コミュニケーション科の授業には、英語指導助手（ALT）が常にいるので、リアルな英語に触れることができる。
- ・令和 6 年度の学校教育自己診断の「子どもは、英語でやり取りしたり、発表したりすることに、前向きに取り組んでいる。」（保護者対象）に対する肯定回答率は 47%だった。また、箕面子どもステップアップ調査の「英語を使ってコミュニケーションを図ることが楽しいと思いますか。」（生徒対象）に対する肯定回答率は 60%だった。教材づくりや授業の進め方等を工夫することに課題があると感じている。

3.今後に向けて

- ・自分の知っている英単語や英文法を工夫して使って、自分の言いたいこと、表現したいことを書いたり話したりする活動だけでなく、自分の知らない英語に出会っても、「どういう意味かな」「きっとこういう意味だろう」と推測しながら英語を聞いたり読んだりする活動も通して、英語力とコミュニケーション力の育成をめざす。
- ・生徒たちの興味・関心のあるテーマや、生徒たちが将来、出会うべき事柄等を取り上げ、生徒たちが主体的に課題設定、課題解決できるような教材づくりを進めていきたい。